

コロナウインドヒーポン 標準取付枠 据付説明書

安全上のご注意

■据付工事前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
 ■ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表示	表示の意味
	警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。
	注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付工事終了後、この据付説明書とあまった部品は、移設時などに必要ですので、取扱説明書とともに大切に保管し、移設時などに読み直してください。

警告

- 据え付けは、強度が十分な場所を選定し、据付説明書に従って確実におこなう。強度不足や据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。
- 電気工が必要な場合は、お買いあげの販売店または、専門業者に依頼する。電源回路容量不足や配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。
- 窓枠に取り付けた取付枠にエアコンを取り付けて確実に固定する。エアコンの固定が不確実な場合は、エアコン落下によるけがの原因になります。
- 据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しく据え付ける。取付枠や据付方法に不備があるとエアコン落下によるけがの原因になります。

- アース（接地）は確実におこなう。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。
- 漏電しゃ断器を取り付ける。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。

注意

- 可燃性ガスのもれる恐れのある場所へ据え付けない。万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
- 取付枠のパッキンやシールは確実におこなう。不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
- ドレンホースは確実に排水するように配管する。不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

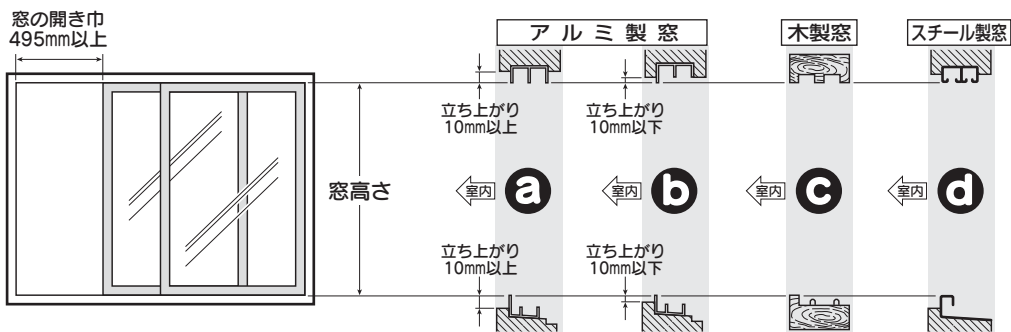
据付前の確認

- ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。
- 窓の種類、高さにより据え付け方法が異なります。
- 窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、窓の構造によっては、右側据え付けで戸締まりができない場合があります。
- 窓の開き巾は、495mm以上必要です。

■据え付けられる窓

窓の種類	窓高さ	据付手順		
		参照ページ P4	参照ページ P2	参照ページ P3
a アルミ製窓 (立ち上がり10mm以上の場合)	813~888mm	(B)	据付手順 1~9	工事の仕上げ
	888~1400mm		据付手順 1~9	工事の仕上げ
b アルミ製窓 (立ち上がり10mm以下の場合)	843~918mm	(A)1→(B)	据付手順 1~9	工事の仕上げ
	918~1400mm	(A)	据付手順 1~9	工事の仕上げ
c 木製窓	918~1400mm	(A)	据付手順 1~9	工事の仕上げ
d スチール製窓				

■窓の高さが、1400~1900mmの場合は、「テラス窓用取付枠」(別売)と接続して使用してください。



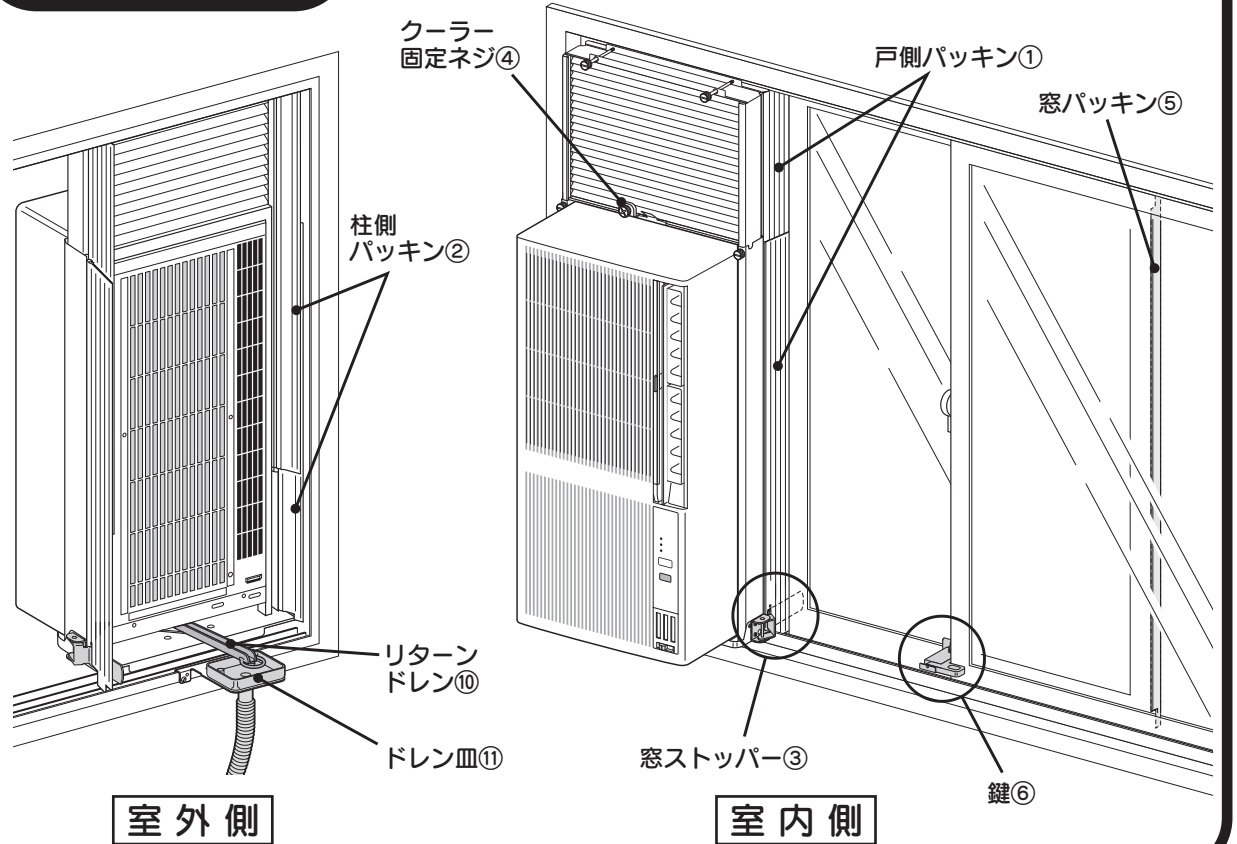
■据付場所を選ぶ

- 冷風風吹出口前方に障害物がなく、部屋全体に冷風風がゆきわたる場所。
- 室外側の風通しがよく、背面から出る冷風風がこもらない場所。
- 窓が強く振動の伝わりにくい場所。
- 可燃性ガスのもれる恐れのない場所。
- 雨といの直下は避け、吹き降りなどにより窓から雨水が侵入しない場所。
- 背面からの冷風風が隣家の窓に吹きつたりせず、また騒音の伝わりにくい場所。
- 取付枠を使用し確実に据え付けをおこなわない場合は、屋内に水漏れし、家財などを濡らす原因となります。

■騒音等にもご配慮を

- 窓の強度が十分に、取付枠にもゆるみがないことを確認してください。(強度不足及び取付枠のゆるみがあると、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。)
- ウインドエアコンの室外側吹出口からの冷風風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ウインドエアコンの室外側吹出口の近くに障害物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになることがあります。
- ご使用中、異常音が出る場合はお買いあげの販売店にご相談ください。

完成図



用意する主な工具

- 巻尺(約2m)
- コインまたはΦドライバー (幅広)
- Φドライバー
- はさみ(カッター)

部品展開図

据付手順 1
上部締付ネジ⑦
2本 (短い)

据付手順 6
クーラー固定ネジ④

据付手順 1
下部締付ネジ⑨
1本 (長い)

据付手順 1
戸側パッキン①
2枚 (幅が広い)

据付手順 2
窓ストッパー③

据付手順 2
ナベタッピンネジ⑫
(φ4×8) 2本

据付手順 5
ドレン皿⑪

据付手順 5
ドレン皿止め板⑫

据付手順 5
ドレンホース⑬

据付手順 5
スペーサー⑭

据付手順 5
ナベタッピンネジ⑯
(φ4×12) 2本

据付手順 5
トラスタッピンネジ⑰
(φ4×8) 2本

据付手順 5
ナベドリリングネジ⑱
(φ3.5×13) 2本

据付手順 7
窓パッキン⑥
※粘着剤付

据付手順 8
鍵⑥

据付手順 8
皿ドリルネジ⑮
(φ3.5×10) 2本
※アルミ製窓に使用

据付手順 8
皿木ネジ⑯
(φ3.5×16) 2本
※木製窓に使用

据付手順 8
B 裏面
小窓シール⑲
※高さが低い窓のときに使用
※粘着剤付

据付手順 8
A 裏面
補助金具⑳ 2本
※窓の立ち上がりが低いときに使用

据付手順 8
ドリルネジ㉑
(φ3.5×13) 4本
※アルミ製窓に使用

据付手順 8
丸木ネジ㉒
(φ4.1×20) 4本
※木製窓に使用

工事の仕上げ 3
粘着テープ㉓
※雨水が侵入しないように使用

工事の仕上げ 4
パテ㉔
※雨水が侵入しやすい所に使用

据付手順

「左側据え付け」を基準に説明しています。

アルミ製窓（立ち上がり10mm以上）で、窓高さが888~1400mmの場合

据付手順 1へ

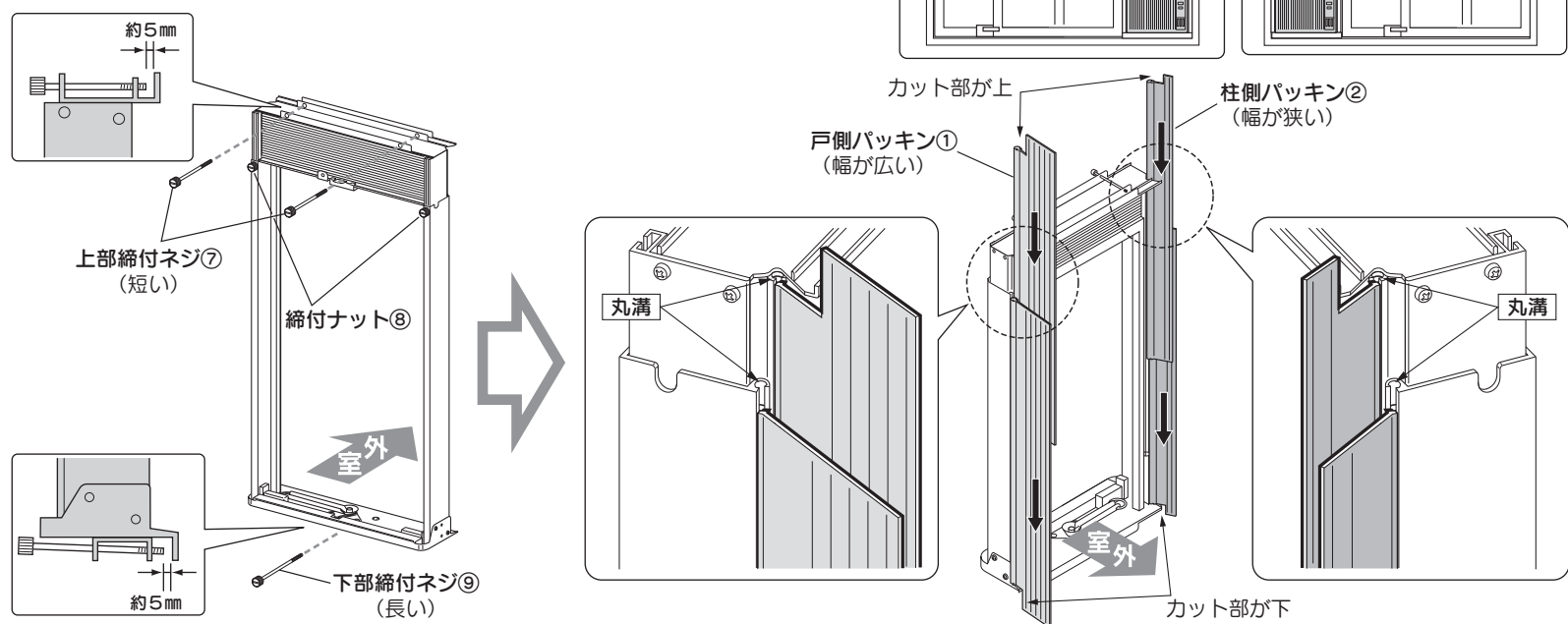
それ以外の窓の場合

裏面 (A) または (B) へ

据付手順 1へ戻る

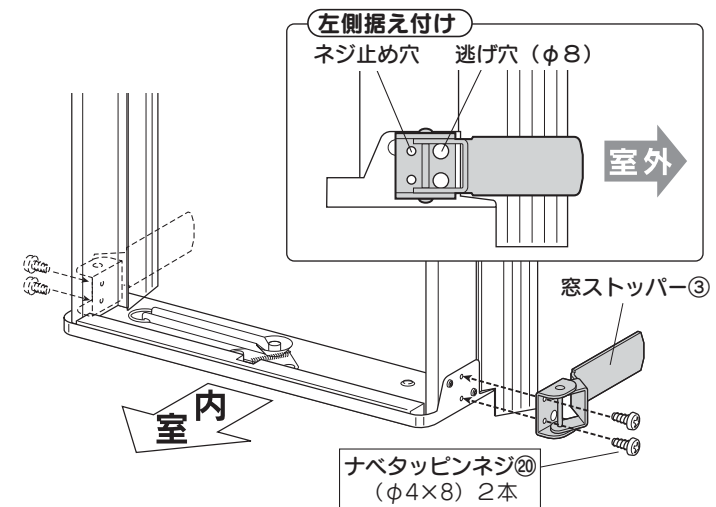
1 上部・下部締付ネジと戸側・柱側パッキンを取り付ける

- 上部締付ネジ⑦(2本)と下部締付ネジ⑨(1本)を取り付けます。図のように約5mmすきまを開けて取り付けてください。
- 戸側パッキン①(2枚)、柱側パッキン②(2枚)を取付枠の丸溝に沿って上から差し込んでください。上下に切り欠きができるように、差し込み方向に注意してください。
- 本図は「左側据え付け」の場合を説明しています。「右側据え付け」にする場合は、戸側パッキン①と柱側パッキン②が逆になります。



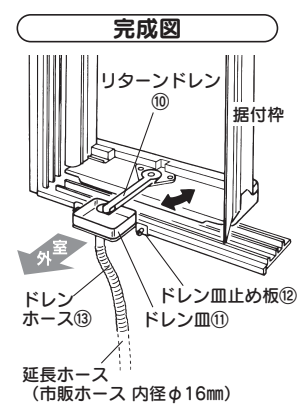
2 窓ストッパーを取り付ける

- 窓ストッパー③をネジ⑩を使用して、戸側の取付枠に取り付けます。
 - 「左側据え付け」の場合は図のように取付枠の右側に、「右側据え付け」の場合は取付枠の左側に取り付けます。
- ※逃げ穴(φ8)が室外側にくるように取り付けてください。

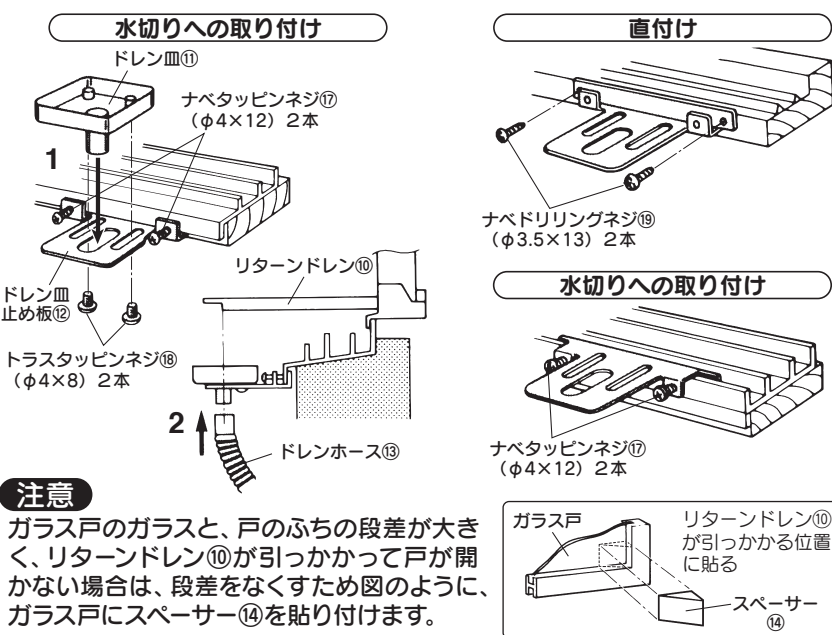


5 ドレン工事をする

- ドレン水を適正な所まで導きます。
- リターンドレン⑩を取付枠より引き出し、ガラス戸にリターンドレン⑩が引っかかりせず、スムーズにガラス戸が開閉するか確かめてください。
- 雨戸の戸袋側への据え付け、シャッター式の雨戸への据え付けの場合には、リターンドレン⑩の自動動作が不可能になります。この場合は、戸締め時には、リターンドレン⑩は手で収納してください。



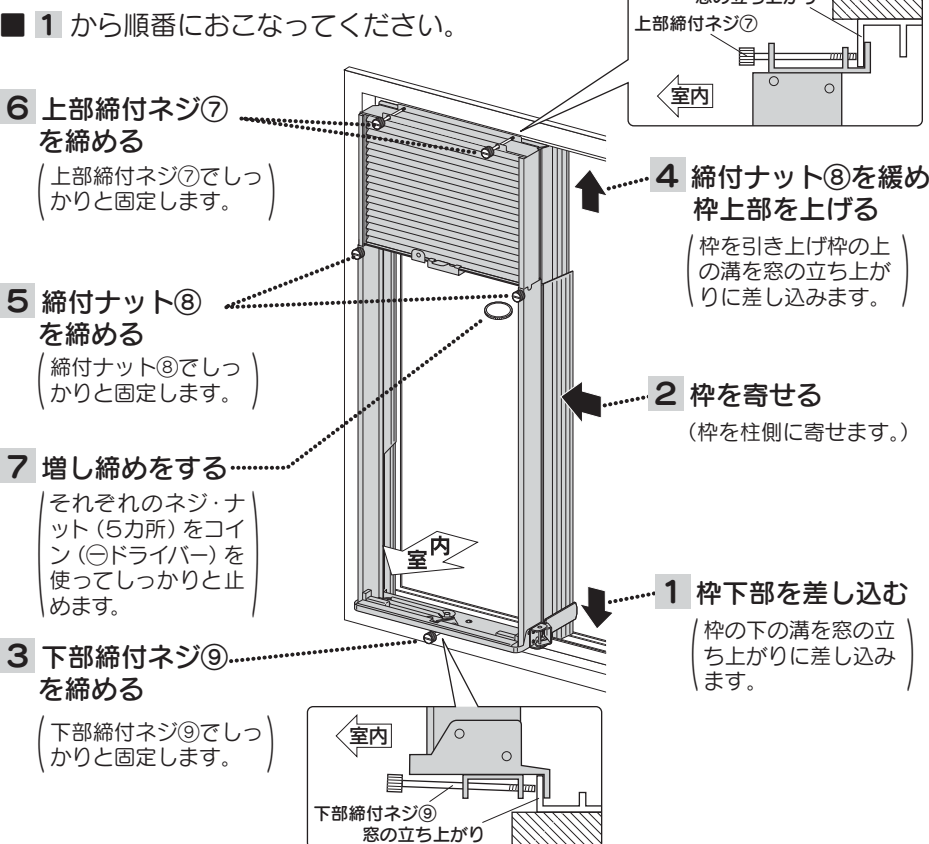
- 1 窓枠にドレン皿⑪とドレン皿止め板⑫を取り付けます。※リターンドレン⑩の先端がドレン皿⑪の中心になるように取り付けます。※リターンドレン⑩がガラス戸の開閉時ドレン皿⑪に当たらない取り付け方をおこなってください。
- 2 ドレンホース⑬をドレン皿⑪に接続します。※延長する場合は市販のビニールホース(内径φ16mm)を接続してください。



- 注意**
- ガラス戸のガラスと、戸のふちの段差が大きく、リターンドレン⑩が引っかかって戸が開かない場合は、段差をなくすため図のように、ガラス戸にスペーサー⑭を貼り付けます。

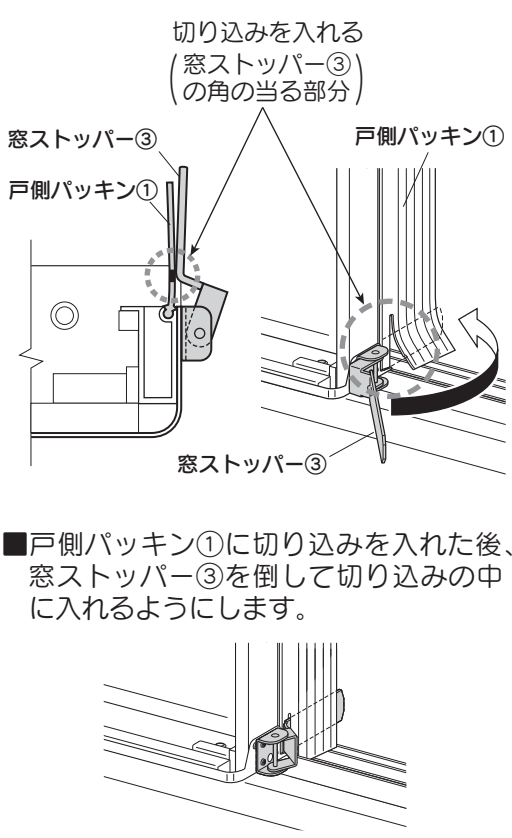
3 枠を据え付ける

- 注意** ネジ・ナットは、必ずコイン(⊖ドライバー)を使用して増し締めをしてください。ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。



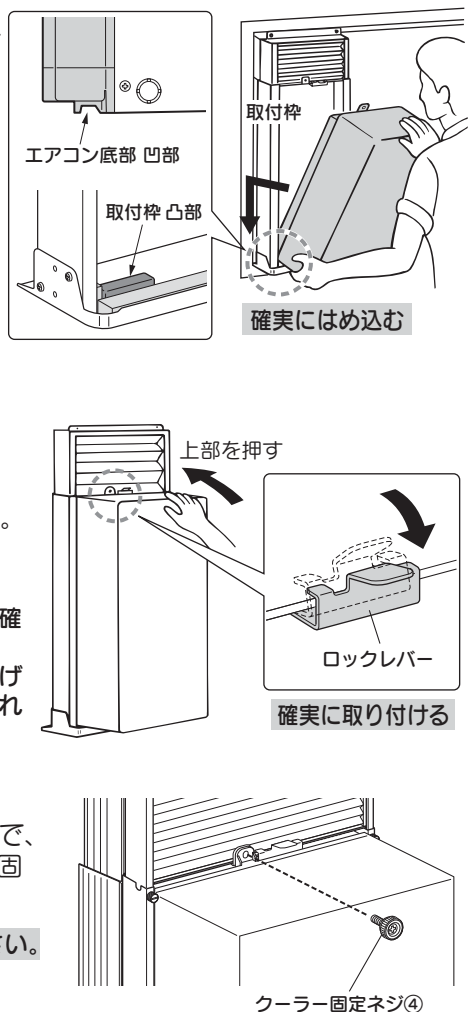
4 戸側パッキンに切り込みを入れる

- 窓ストッパー③を倒して戸側パッキン①に切り込みを入れる位置を決めます。はさみ(又はカッター)で下から切り込みます。



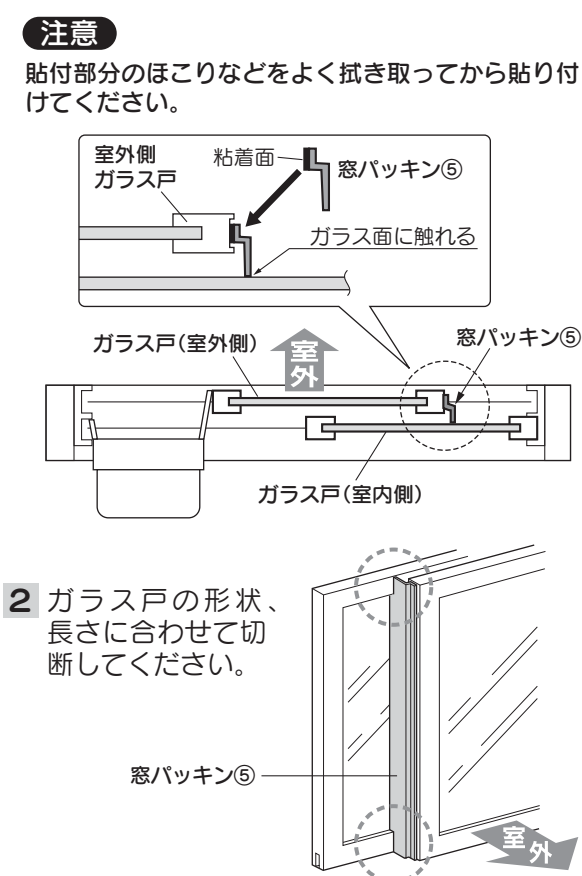
6 エアコンを取り付ける

- 1 取付枠下部の凸部に、エアコン底部の凹部をはめ込みます。
注意 ■手をはさまないように注意してください。
■エアコン前面パネルは持たないでください。
- 2 エアコンの上部を押して、仮固定します。
注意 ■確実に掛かっているか確かめてください。
■ロックレバーを上上げると、エアコンがはずれます。
- 3 クーラー固定ネジ④で、取付枠にエアコンを固定します。
必ず取り付けてください。



7 窓パッキンをつける

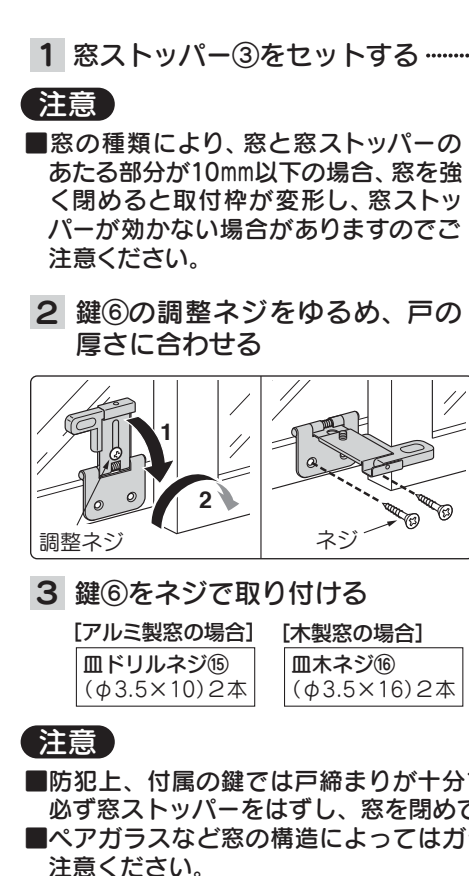
- 1 ガラス戸のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止するため、室外側のガラス戸に窓パッキン⑤を図のように貼り付けてください。
注意 貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。



- 2 ガラス戸の形状、長さに合わせて切断してください。

8 鍵をつける

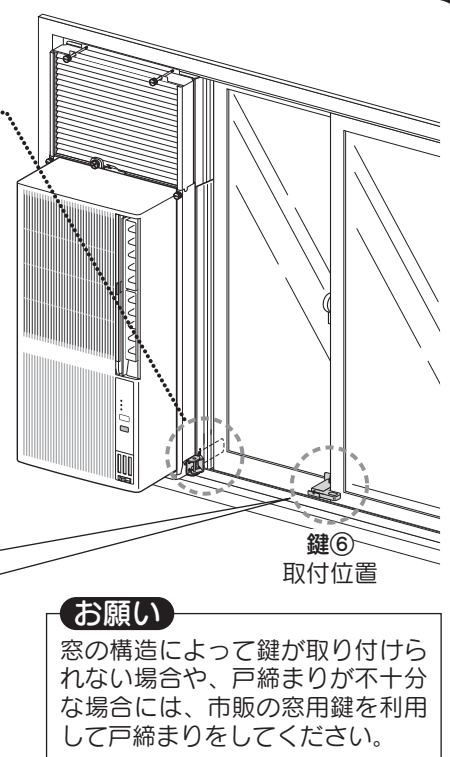
- エアコン使用中の戸締めりのため、鍵⑥を取り付けることをおすすめします。
- 1から順番におこなってください。



- 3 鍵⑥をネジで取り付ける
[アルミ製窓の場合] ■皿ドリルネジ⑥ (φ3.5×10) 2本
[木製窓の場合] ■皿木ネジ⑥ (φ3.5×16) 2本

- 注意**
- 防犯上、付属の鍵では戸締めりが十分ではありません。お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーをはずし、窓を閉めて窓の鍵をかけてください。
■ペアガラスなど窓の構造によってはガラスが破損するおそれがありますのでご注意ください。

9 工事の仕上げへ (裏面)



- お願い**
- 窓の構造によって鍵が取り付けられない場合や、戸締めりが不十分な場合には、市販の窓用鍵を利用して戸締めりをしてください。